

定住自立圏構想

中心市宣言書



高松市

中心市宣言

高松市は、かつて新渡戸稲造が「世界の宝石なりと断言せんとす」と評した美しい瀬戸内海に臨み、風光明媚で、国や民間企業の多くの出先機関が集積する四国の中核・中核拠点都市であります。また、本市は、これまでに培ってきた都市機能の集約を基盤に、中心市街地と農村地帯、そして讃岐山脈に抱かれた中山間地域などの多様で特色のある地域が融合する、都市的利便性と豊かな自然環境を同時に享受できる都市でもあります。

現在、わが国は、人口減少、少子・高齢社会の到来とともに、グローバル化や環境問題の深刻化、価値観・ライフスタイルの多様化等の様々な変化の局面に立たされています。そして、地方財政が厳しさを増す中、時代は、ハードからソフトへ、量的拡大から機能性の追及・効率的活用へと重心が移りつつあります。一方、第2期地方分権改革が進み、基礎自治体への権限委譲など、国と地方の役割分担の見直しが進む中、地域が知恵を出し、創意工夫をしながら、地域の実情に応じた自主的・自立的な地域づくりを進めていくことが強く求められています。

本市が、これらの諸課題に適切に対応することにより、将来においても四国の中核・中核拠点都市としての機能を発揮し、持続可能な、住むことに誇りの持てるまちづくりを推進するためには、市域を超えて、本市内の事務所や学校に従業または通学する割合の高い隣接地域や、優れた地域資源である瀬戸内海、さらには、そこにある多様な個性を持った島しょ部を含めて一つの都市圏域として捉え、活性化の方向性を探っていくことも重要な視点となります。

このようなことから、国が掲げる定住自立圏構想の下、本市を中心市として、「瀬戸・高松広域定住自立圏（仮称）」を形成し、本市に集積する都市機能を生かし、周辺市町と連携・交流を図りながら、圏域内の住民に対して積極的に各種サービスを提供することなどにより、圏域全体に必要な生活機能を確保し、安心して暮らし続けられる、魅力ある地域づくりに努めることを、ここに宣言します。

- 一 高松市は、「瀬戸・高松広域定住自立圏（仮称）」の中心市として、「集約とネットワーク」の考え方を基本とし、圏域内で定住できる環境を整備する中、本市の中核拠点性の一層の強化を図るとともに、圏域全体の活性化と、魅力ある地域の形成を目指します。
- 一 高松市は、周辺市町との強力な連携と役割分担の下、お互いが持つ資源や機能の活用を図り、広域による行政展開の利点を最大限引き出しながら、海、野、山を生かし、島、街、里が一体的に融合した、創造性豊かな海園・田園都市づくりを目指します。
- 一 高松市は、圏域内におけるサービス水準の均衡等を図る観点から、周辺市町との共同による事業実施や本市に集積する都市機能の効果的な活用などにより、居住する住民の生活機能を確保し、安全で安心して健やかに暮らし続けられる地域づくりを目指します。

平成21年3月4日

高松市長

大西秀人

瀬戸・高松広域定住自立圏（仮称）の形成に向けて

中心市である高松市と周辺市町が、本市に集約する都市機能を生かしながら、住民の生活機能を確保し、地域の魅力を向上させていくための基盤となる都市機能の集積状況、本市と周辺市町との連携が想定される取組などは、次のとおりです。

1 本市の都市機能の集積状況

項目	高度定住自立圏の目指すべき都市機能	施設（サービス）名	備考 (件数・人数は H19 実績)
医療・福祉	地域がん診療連携拠点病院 (厚生労働省指定)	香川県立中央病院	
		高松赤十字病院	
	救急病院 (県指定)	[第2次・第3次] 香川県立中央病院	446,632 人
		[第2次] 高松市民病院 高松赤十字病院 香川県済生会病院 屋島総合病院 栗林病院 国家公務員共済高松病院 高松平和病院	(高松市民病院) 279,770 人 ※H20.12 の利用者 21,043 人 うち市外 2,314 人
		香川県小児救急電話相談	毎日 19 時から 23 時まで、小児科医、看護師が対応 887 件
児童相談所	香川県子ども女性相談センター	5,089 件 (うち市外 2,404 件)	
教育	大学	国立大学法人香川大学 高松大学 香川県立保健医療大学 高松短期大学	
	中高一貫校	香川県立高松北中学校・高等学校 大手前高松中学校・高等学校 香川誠陵中学校・高等学校	全日制普通科
	各種専門学校	3 4 校	学校教育法による認可校
消費	百貨店	2 店	大規模小売店舗 10,000 m ² 以上
	大型書店	3 社	
	大型家電量販店	3 店	大規模小売店舗 10,000 m ² 以上
	大型ショッピングセンター	1 0 店	大規模小売店舗 10,000 m ² 以上
	消費者生活センター	高松市消費生活センター	2,340 件 (高松市民対象)
香川県消費生活センター		9,489 件 (うち市外 5,424 件)	

項目	高度定住自立圏の目指すべき都市機能	施設（サービス）名	備考 (件数・人数は H19 実績)
情報・娯楽・文化	テレビ主要5局視聴	日本テレビ系列 テレビ朝日系列 フジテレビ系列 TBS 系列 テレビ東京系列	視聴可
	シネマコンプレックス	1 施設	
	美術館	高松市美術館	139,142 人
		高松市塩江美術館	8,168 人
	資料館等	高松市歴史資料館	29,485 人
		高松市石の民俗資料館	96,097 人（施設に付随する公園利用者を含む）
		高松市讃岐国分寺跡資料館	14,864 人
		高松市香南歴史民俗郷土館	12,334 人
		高松市菊池寛記念館	12,216 人
		香川県立ミュージアム	72,481 人
		瀬戸内海歴史民俗資料館	9,667 人
	大型文化ホール	サンポートホール高松	323,796 人
		香川県県民ホール	454,808 人
	大規模図書館	高松市図書館	494,070 人 (4 分室・移動図書館含む)
		香川県立図書館	549,940 人
交通	高速道路	高松自動車道	高松東 IC, 高松中央 IC, 高松檀紙 IC, 高松西 IC
	ターミナル駅	JR 高松駅	【バス】 9 社 【列車】 1 社 (平均乗降者数 26,128 人/日)
		琴電瓦町駅	【バス】 1 社 【電車】 1 社 (平均乗降者数 12,904 人/日)
	長距離バス	高松⇄東京, 横浜, 名古屋, 京都, 大阪, 神戸, 広島, 福岡, 松山, 高知, 徳島, 八幡浜	
	空港アクセスバス	高松⇄高松空港 関西国際空港	

2 本市に対して従業または通学する就業者数および通学者数を、常住する就業者数および通学者数で除して得た数値が0.1以上である市町の名称

市町名	通勤通学割合 (A/B)	本市に対して従業または 通学する就業者数および 通学者数 (A) (人)	常住する就業者数および 通学者数 (B) (人)
丸亀市	0.11	5,838	51,577
坂出市	0.18	4,518	24,960
さぬき市	0.33	8,425	25,075
東かがわ市	0.14	2,164	15,272
三木町	0.48	6,766	13,929
宇多津町	0.11	1,020	8,748
綾川町	0.47	5,628	11,835
まんのう町	0.10	896	8,656

※就業者数および通学者数は、平成17年国勢調査によるものです。

なお、常住する就業者数は、自宅従業者を除きます。

3 上記のほか、本市の周辺にあつて、本市と人口定住のために連携する意思を有する市町の名称

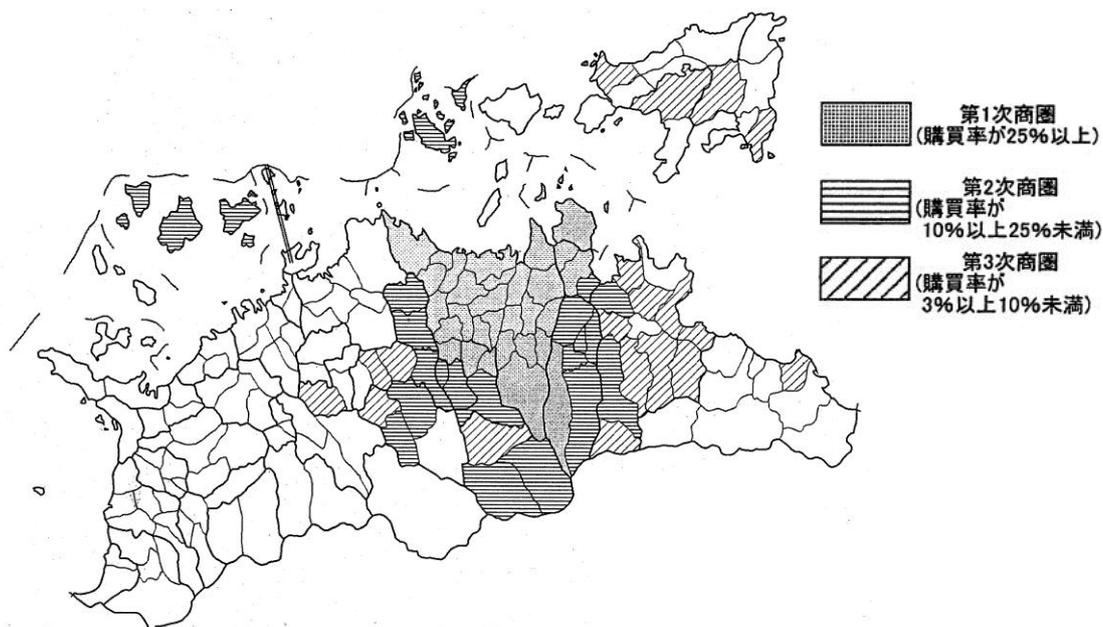
土庄町、小豆島町、直島町

4 本市と周辺市町との連携が想定される取組

視 点	分 野	取 組 内 容
生活機能の強化	産業振興	(財)高松観光コンベンション・ビューローが主体となり、島しょ部を始め、圏域内の魅力を生かした観光ルートを地域ごとに設定し、観光情報を広く発信し、観光の振興を図る。
	医療	救急医療体制を始めとする地域医療ネットワークの充実を図る。
	その他	消防・防災体制の充実
		廃棄物処理対策 下水処理対策・し尿処理対策
結びつきやネットワークの強化	地域公共交通	圏域内外の交流を深め、航路の利用を促進し、離島航路の確保と充実を図る。
	ICT インフラ整備	圏域内でのCATVや超高速情報通信網のエリア拡大などによる行政情報の発信・交換などにより、地域情報化施策の充実を図る。
	その他	環境保全施策の充実（特に瀬戸内海の環境保全） 文化芸術の振興（2010年瀬戸内国際芸術祭の開催）
圏域マネジメント能力の強化	人材の確保	人材の育成や交流（情報を共通認識し、さらに連携を強めるため、圏域内での人事交流の推進を図る。）

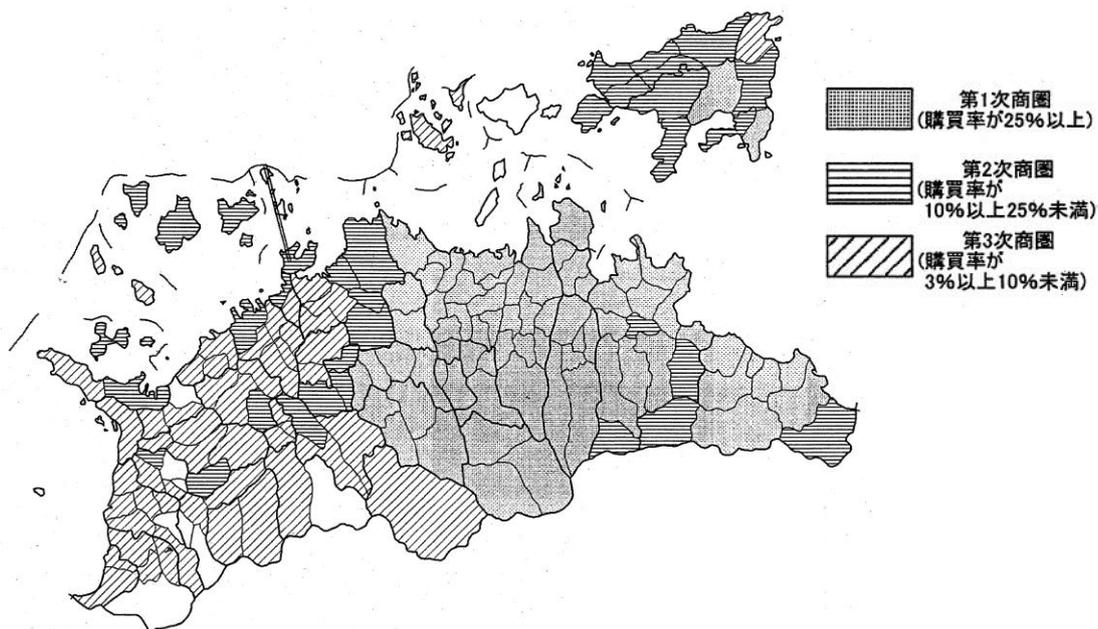
5 本市の商圈構造の状況

1 最寄品（食料品、日用雑貨品など）商圈



町名	調査区域数	第1次商圈	第2次商圈	第3次商圈	その他
土庄町	7	0	0	1	6
小豆島町	7	0	0	3	4
三木町	6	1	5	0	0
直島町	1	0	1	0	0
綾川町	8	0	3	3	2

2 買回品（家具、電化製品など）商圈



町名	調査区域数	第1次商圈	第2次商圈	第3次商圈	その他
土庄町	7	6	0	0	1
小豆島町	7	2	4	1	0
三木町	6	6	0	0	0
直島町	1	0	0	1	0
綾川町	8	8	0	0	0

※各市町における調査区域ごとの住民が、高松市で購買する確率（購買率）を該当する商圈に表したものです。いずれの商圈も、平成16年度香川県商圈調査によるものです。